広い浅草ウォークラリー

3月21日（木・祝）
午前11時～午後4時

浅草文化観光センター1Fで
スタンプ用紙を配布します。
（スタート受付／午後3時まで）

1 浅草文化観光センター
台東区雷門2-18-9

浅草観光の情報発信拠点
最上階（8F）で浅草を展望しよう!

パンフレットやパソコンなどで台東区の観光情報を入手できる。多目的スペースではイベント等も開催。最上階には喫茶室、浅草が一望できる無料の展望テラスがある。授乳、調乳用温水器、おむつ替えベッドのほか外貨両替所やトイレもあるので覚えておくと便利。

OPEN 午前10時～午後8時
CLOSE 年中無休
（メンテナンス等のため休館する場合あり）

2 浅草見番
台東区浅草3-33-5

東京屈指の花柳界のひとつ、浅草花街を担う施設

浅草寺の北にある「奥浅草」は、伝統と格式を誇る花街としても知られています。芸者衆や幇間の手配などを行う浅草見番は、その中心的施設で、普段は芸者衆の稽古場として使われています。また、「浅草おどり」など浅草花街の地域復興、芸妓の芸能文化向上に寄与する活動をしています。

3 長國寺
台東区千束3-19-6

縁起熊手で知られる酉の市は
開山当時に起源を持つ

寛永7年（1630年）開山。寛文9年（1669年）に現在地に移転した。開山当時から11月酉の日に、鷲妙見大菩薩の出開帳が行われ、参詣者の厚い信仰を集めて門前に市が立つようになった。それが現在、縁起熊手を求める客で賑わう「酉の市」の発端となった。

4 本法寺
台東区寿2-9-7

福徳をもたらす白狐を祀る霊験あらたかな稲荷

江戸城紅葉山に創建され、明暦2年（1657年）振袖火事で焼失後、現在地に移った。白狐を祀り、江戸時代から霊験あらたかと知られた熊谷稲荷ほか吉見稲荷、はなし塚、お伽丸柳一碑、筆塚、山谷なかま塚などがあり、それぞれの由来を知ると面白い。

5 鳥越神社
台東区鳥越2-4-1

例大祭は毎年6月

白雉2年（651年）開闢。前九年の役で、源義家がこの地を訪れ、鳥越大明神と改めたと伝えられている。例大祭に出る千貫神輿は都内で最も重い神輿と言われ、関東三大宮神輿の一つに数えられる。提灯に火が入る宮入道中は豪華絢爛で、「鳥越の夜祭り」と称されている。

6 首尾の松
台東区蔵前1-3

幕府の米蔵が並ぶ地に江戸で知られた松があった

蔵前橋の西詰周辺は、かつて浅草御蔵と呼ばれた江戸幕府の米蔵が立ち並ぶ場所であった。「首尾の松」はそのころ現在の位置より100メートルほど下流にあって、枝が川面に枝垂れかかっていた姿で知られていた。

現在の松は7代目で、1962年（昭和37年）に碑の建立とともに現在地に植えられた。

隅田川を利用して吉原に行く通人たちが途中この松陰によって「首尾」を求めたからなど由来には諸説がある。

お問い合わせイベント事務局　☎03-5811-1929